

農作業メモ

# 水稻の収穫適期について

近年、8～10月の気温が高いため、出穂期が早まり、水稻の収穫適期が短くなる傾向にあります。

収穫適期を過ぎて刈り遅れると、胴割粒が増加し、等級が低下する場合があります。

水稻の収穫適期を見極め、高品質の米を収穫しましょう。

## 【収穫適期の判断方法】

なるべく複数の方法を組み合わせる判断するようにしましょう。

### (1) 籾水分

籾水分が25%以下に低下してから収穫します。露の乾いた天気の良い日の午後に、平均的な株を選んで脱粒し、穀粒水分計で籾水分を測定します。水分のばらつきが大きいので、3～5回程度測定し、平均値を求めます。

多くの機種で、籾水分30%から測定することができます。籾水分は一日に

約0.5%減少するため、一週間位前から、収穫適期の予測が可能です。

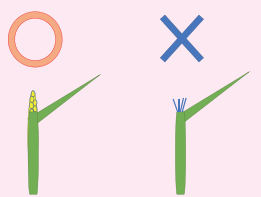
### (2) 登熟積算気温

登熟積算気温とは、出穂期以降の日平均気温を足し合わせた値のことです。

## 出穂期の判定方法

出穂期は、すべての茎のうち、4～5割の茎から出穂が始まった日です。ほ場内で出穂のばらつきがあるので、必ずほ場全体を確認しましょう。

ちなみに、全体の8割の茎が出穂し始めた日を穂揃期といえます。



見えても、穂のカウントは、少なくとも出穂の割合は、カウントしな

出穂期が分かれば、刈り始めと刈り終わりの目安が分かり、作業計画が立てやすくなります。

熊谷地方気象台で観測した日平均気温は、気象庁のWEBサイトで公開されています。



過去の気象データ検索 (気象庁)

また、当センターでも、登熟積算気温に基づく収穫適期予想について情報提供を行なっていますので、お問い合わせください。

### (3) 帯緑籾歩合

ほ場内で平均的な生育(草丈、葉色、穂数等)の株を選びます。この株の地際から穂先までの長さが3番目に長い穂の籾で判断します。

一穂の中で少しでも緑色が残っている籾の割合が帯緑籾歩合です。

彩のかがやき、彩のきずなは他の品

種と比べて、帯緑籾が多いうちに収穫適期を迎えます。

表1 品種別収穫適期の目安

品種名	登熟積算気温 (°C)	帯緑籾歩合 (%)	出穂後日数 (日)
コシヒカリ	950～1150	15～10	34～42
彩のきずな	900～1100	40～15	35～44
彩のかがやき	1010～1250	55～25	42～54
キヌヒカリ	920～1050	35～15	36～42

※コシヒカリは早植栽培、それ以外の品種は普通期栽培の場合。  
※出穂後日数は過去10年の日平均気温(熊谷)のデータに基づいて算出。

## 【収穫後の乾燥】

籾水分のムラが大きい場合は、一晩から一日程度通風乾燥して、水分をならしてから火力乾燥を行います。乾燥機の送風温度を40℃以下にして、胴割米の発生を防ぎましょう。

大里農林振興センター農業支援部